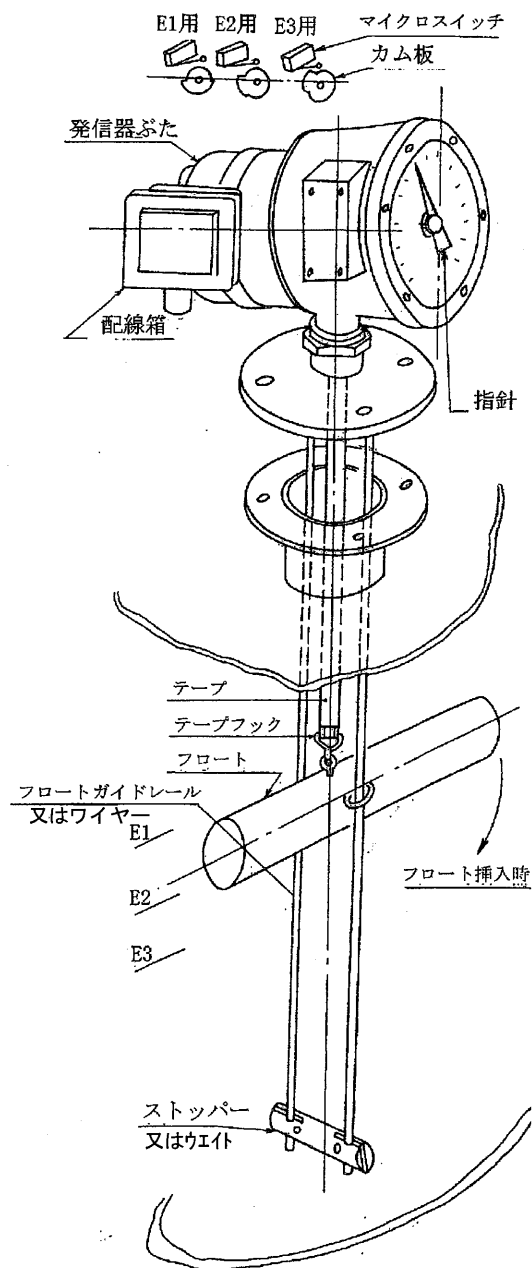


# 取扱説明書

指針式液面指示発信器

型式 LG-100-□LT S方式



## 取付工事手順

1. ガイドレールを計器フランジにねじ込み、ナットにてロックする。
2. フロートをレールに挿入後、ストッパを取り付ける。
3. 計器内に巻き取られているテープを引き出し、フロートにテープがねじれないように取り付ける。
4. フロートを垂直にして、フランジより挿入する。

## 指示値の調整

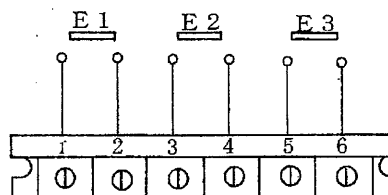
液位の実測値と指示値の誤差修正は、前ぶたを外し、指針のセットビスを緩めて、正しい指示値に針を合わせ、セットして下さい。

## マイクロスイッチのON・OFFの設定修正

出荷時に、スイッチの設定はメーカーにて行っておりますが、万一、仕様変更に伴い再調整を行う場合は、下記要領にてお願い致します。

1. 用途別（設定レベル）スイッチ及びカム板の配列は、左上隅の図示の通りとなっています。
2. 発信器ぶたを外し、指示計を取付座より外す。
3. 指でテープの出し入れを行い、目盛板上の指針を設定値に合わせ、カム板のセットビスを緩め、スイッチのON・OFF設定を行う。

## 用途別端子盤記号



※接点レベル構成は取付図をご参照下さい。

**(株) 和興計測**

神奈川県川崎市高津区久地 8 6 4 - 1

TEL 044 (833) 7181 FAX 044 (850) 8586

品名

指針式液面計

型式

LG(LGE)-100-□LT

## 指示値の修正

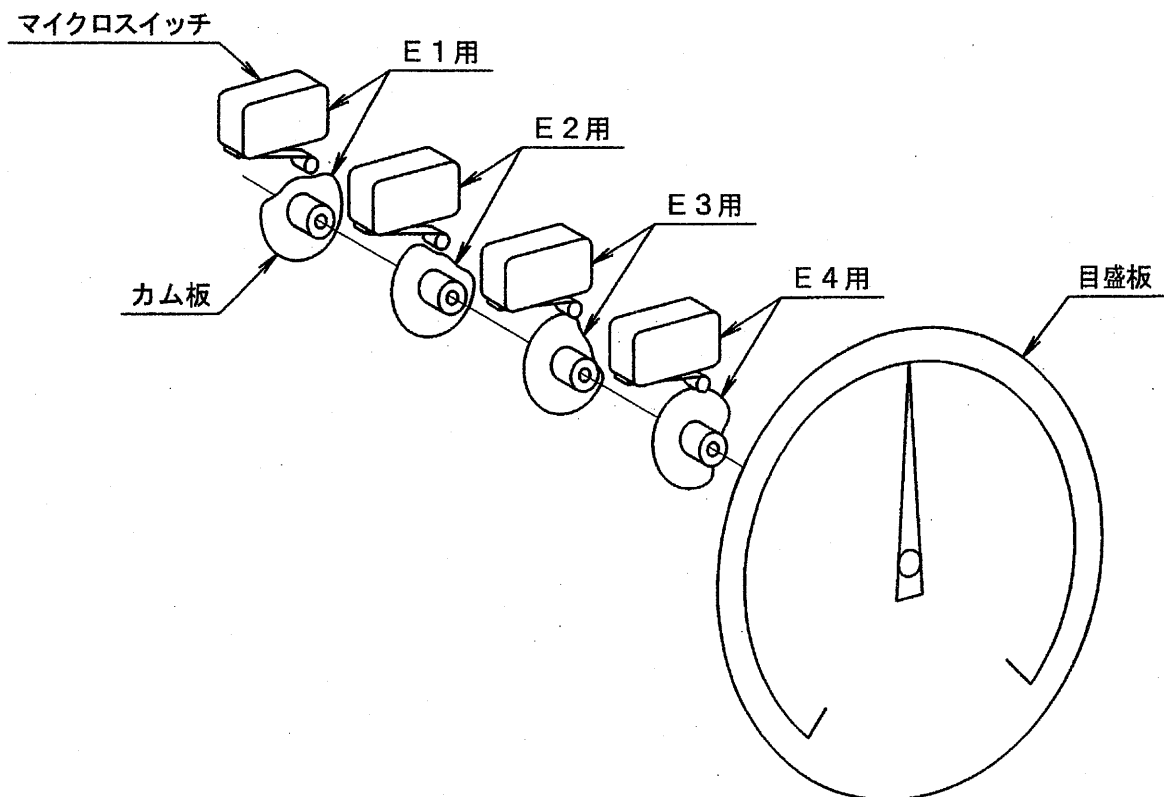
前ぶたを外し、指針のセットビス(+M2)を緩め、実測値に合わせて下さい。

\* 指示値の修正を行った場合は、接点位置の修正も必ず行って下さい。

## 接点信号の設定変更の方法

接点位置の調整後に出荷をして居りますが、液位とON-OFF信号のタイミングを再調整する場合は下記要領で行って下さい。

1. フランジを固定しているボルトを外し、計器フランジとタンク側フランジとの間隔を、手が入る程度になる様スペーサを入れて、テープを自由に出し入れできる状態にする。
2. 指示計背面の裏ぶたを外す。
3. テープを出し入れし、目盛板上にマイクロスイッチの入る位置を指示させて、用途別カム板のセットビスをゆるめ、再固定して下さい。  
同じ要領で、上、下限の調整を行って下さい。
4. 用途別スイッチの位置



## 指針式液面計の取扱注意事項

- 本製品を正しく設置・ご使用されるために、必ずこの「取扱説明書」をお読み下さい。
- フロートを用いた機械式指示計には、フロートと計器との伝達手段として、テープにステンレスの帯鋼を用いています。  
テープの厚さは0.07mmと薄く、鋭利なカミソリの刃に相当します。従って、液面計を設置する際、特にテープを引き出して作業する際には、充分注意して下さい。  
尚、テープを取り扱う際には、必ず手袋を使用して下さい。
- 本製品には次の銘板2点が、添付してあります。ご一読の上、是非実施して下さい。

フックにフロートやマグネットをつるした後は、開いているフックを必ず閉じて下さい。

○ AFTER CONNECTION FLOAT/HOOK OR MAGNET/HOOK, CLOSE THE HOOK-END WITHOUT FAIL.

テープを引き出して、急に離すと故障の原因となります。

While pulling the TAPE, do not hand free very rapidly.

液面計・液面制御機器の専門メーカー

# 株式会社 和興計測

〒 213-0032

神奈川県川崎市高津区久地 864-1

TEL (044) 833-7181(代表)

FAX (044) 850-8586